

# 歯科医療費

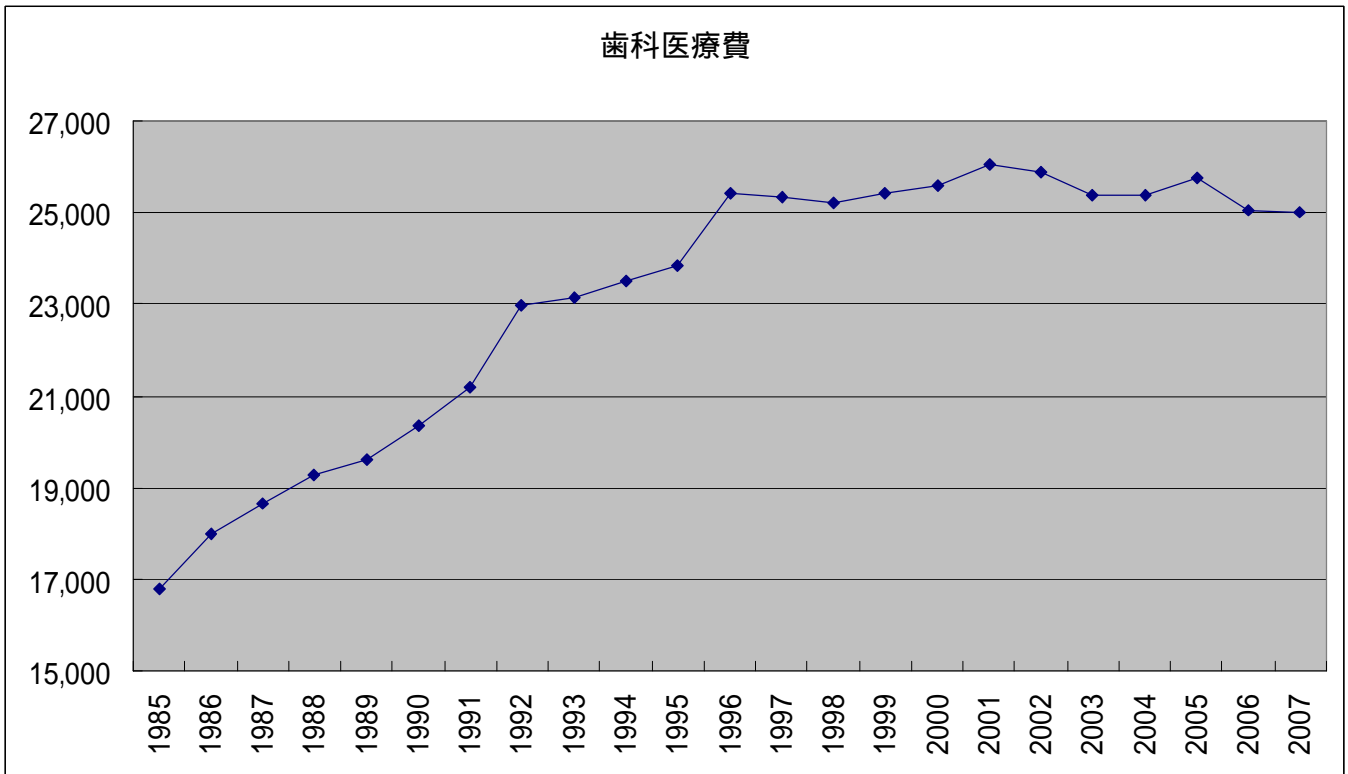
国民医療費、歯科医療費、歯科医師数に関するデータです。

データは厚生労働省からです。

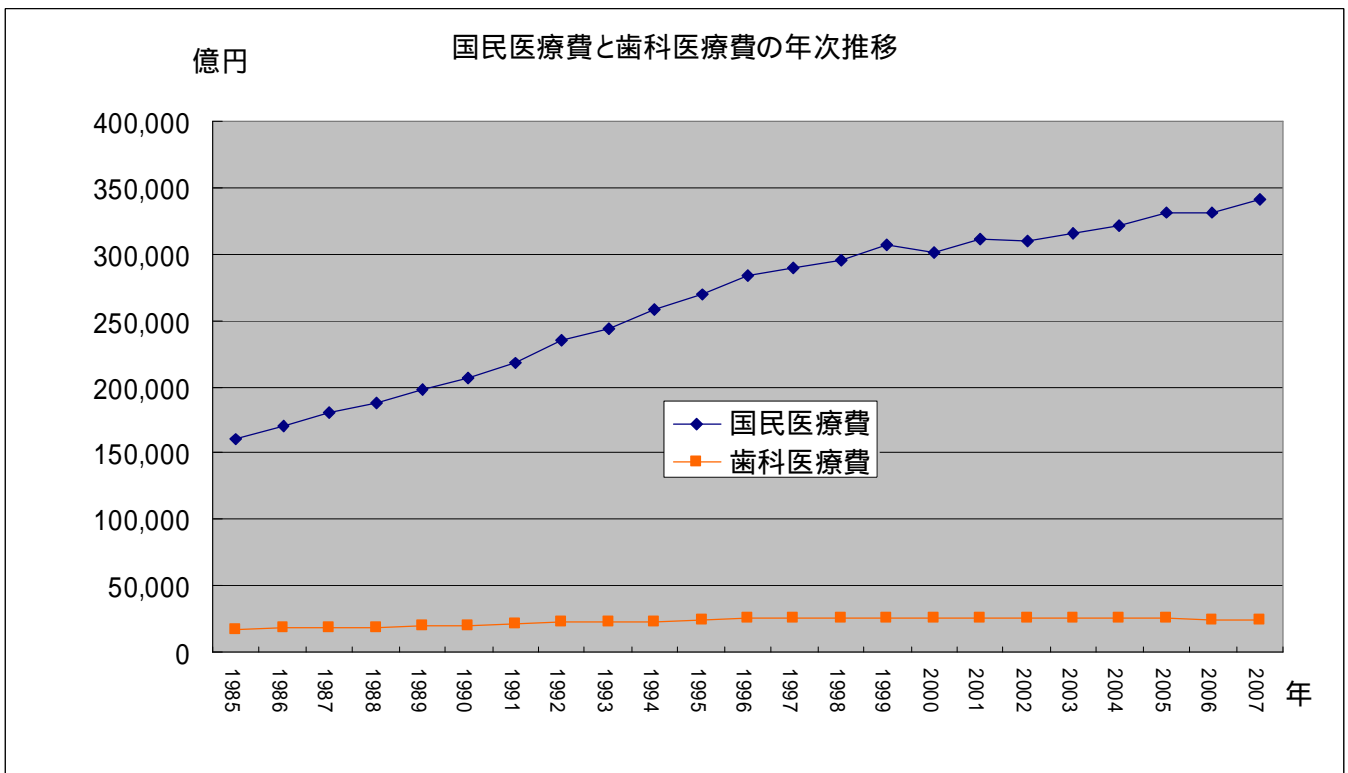
(金額の単位は 億円)

年(和暦)	年(西暦)	国民医療費	歯科医療費	歯科医師数	国民医療費に占める歯科の割合
60	1985	160,159	16,778		10.5%
61	1986	170,690	17,996	66,797	10.5%
62	1987	180,759	18,653		10.3%
63	1988	187,754	19,268	70,572	10.3%
1	1989	197,290	19,617		9.9%
2	1990	206,074	20,354	74,028	9.9%
3	1991	218,260	21,190		9.7%
4	1992	234,784	22,966	77,416	9.8%
5	1993	243,631	23,155		9.5%
6	1994	257,908	23,523	81,055	9.1%
7	1995	269,577	23,837		8.8%
8	1996	284,542	25,430	85,518	8.9%
9	1997	289,149	25,344		8.8%
10	1998	295,823	25,197	88,061	8.5%
11	1999	307,019	25,437		8.3%
12	2000	301,418	25,569	90,857	8.5%
13	2001	310,998	26,041		8.4%
14	2002	309,507	25,875	92,874	8.4%
15	2003	315,375	25,375		8.0%
16	2004	321,111	25,377	95,197	7.9%
17	2005	331,289	25,766		7.8%
18	2006	331,276	25,039	97,198	7.6%
19	2007	341,360	24,996		7.3%

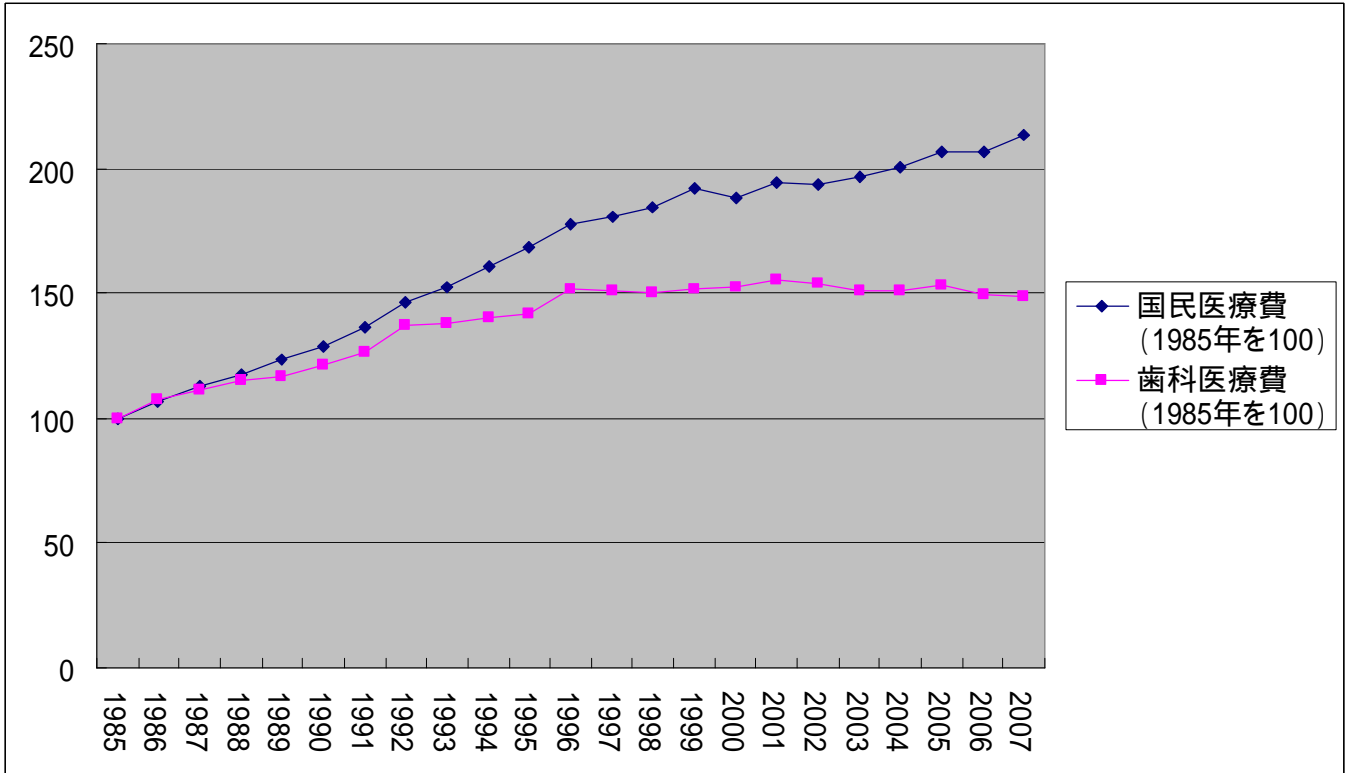
以下のページで、グラフ表示



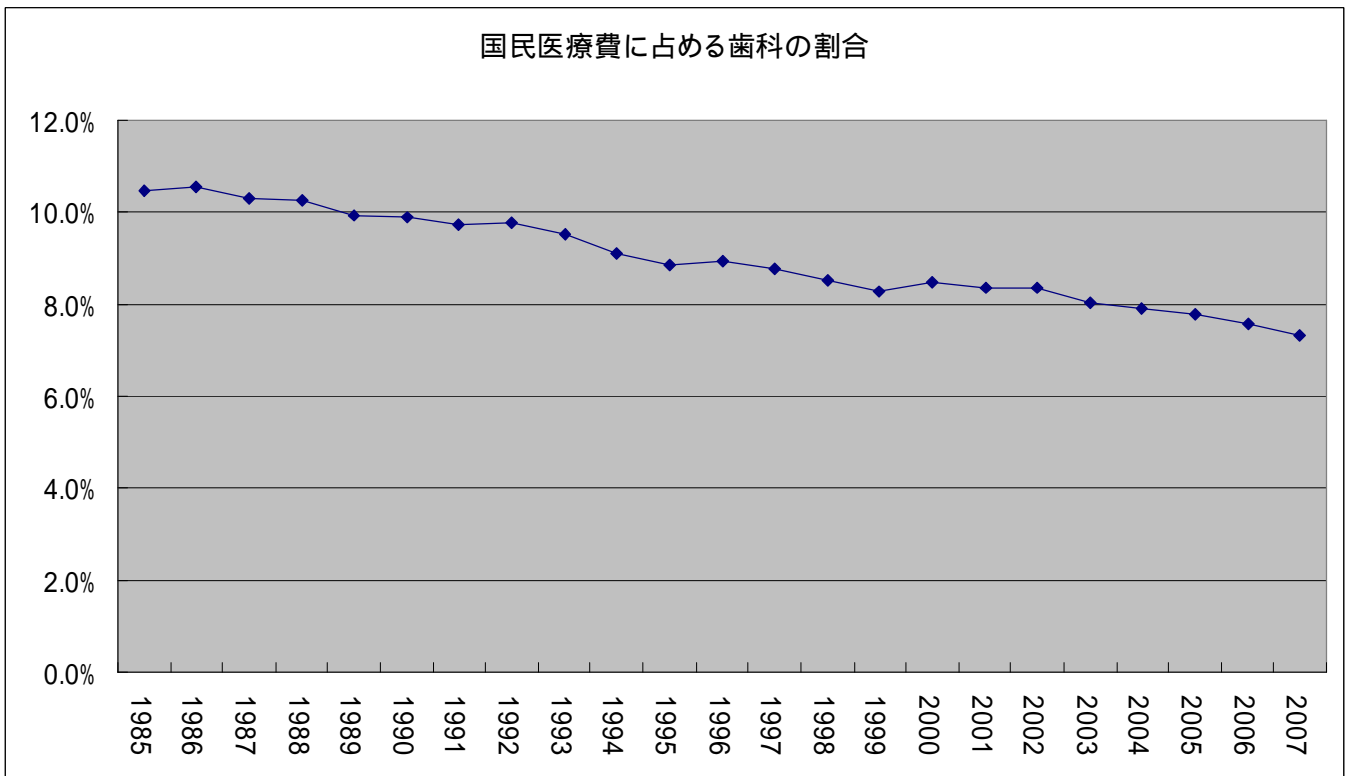
歯科医療費は 1996 年頃から、伸びが鈍化してきているところか、わずかながら減少傾向に。  
 2007 年度は、歯科診療医療費は実額で 0.2%の減少(43 億円減)、診療種類別の構成では、7.3%で 0.3 ポイント減。



一方、国民医療費は年々増加を続けている。(01 年の前年比マイナスは、介護保険導入による影響)  
 2007 年度国民医療費は、34 兆 1360 億円で、前年度に比べ 1 兆 84 億円、3.0%の増加。  
 厚生労働省は国民医療費の伸び率の内訳は、人口増加分 0.0%増、人口の高齢化分 1.5%増、その他(自然増) 1.5%増としている。  
 財源別構成は、公費が 36.7%で 0.1 ポイント増、保険料が 49.2%で 0.2 ポイント増、患者負担が 14.1%で 0.3 ポイント減。

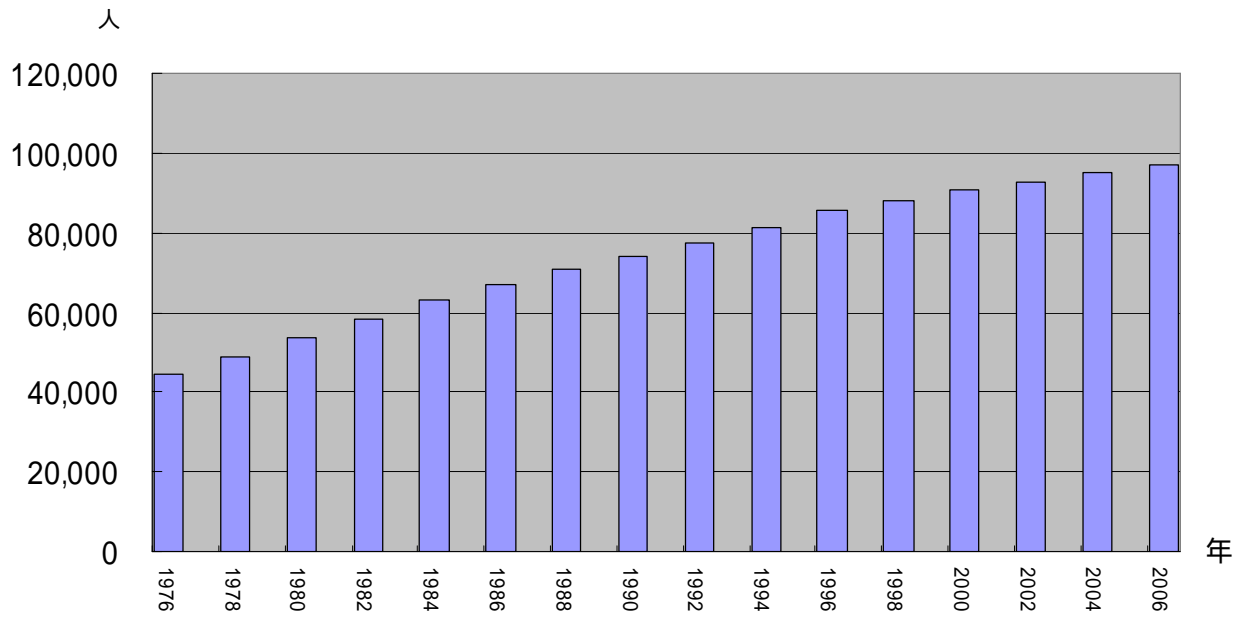


1985 年を 100 としたときの国民医療費・歯科医療費の伸びを示す。  
 内科と歯科の医療費の伸び方の違いは明らかであり、その差はますます開いてきている。



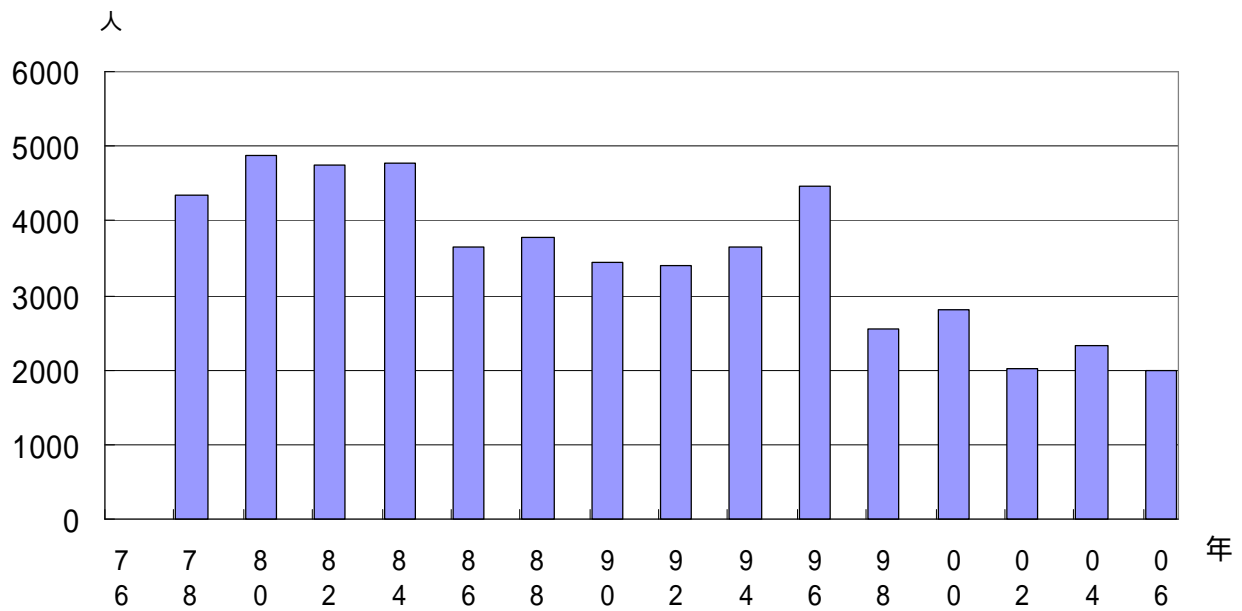
以上により、国民医療費に占める歯科医療費の割合は年々減少し、2007 年度には、7.3%に。

### 歯科医師数の推移



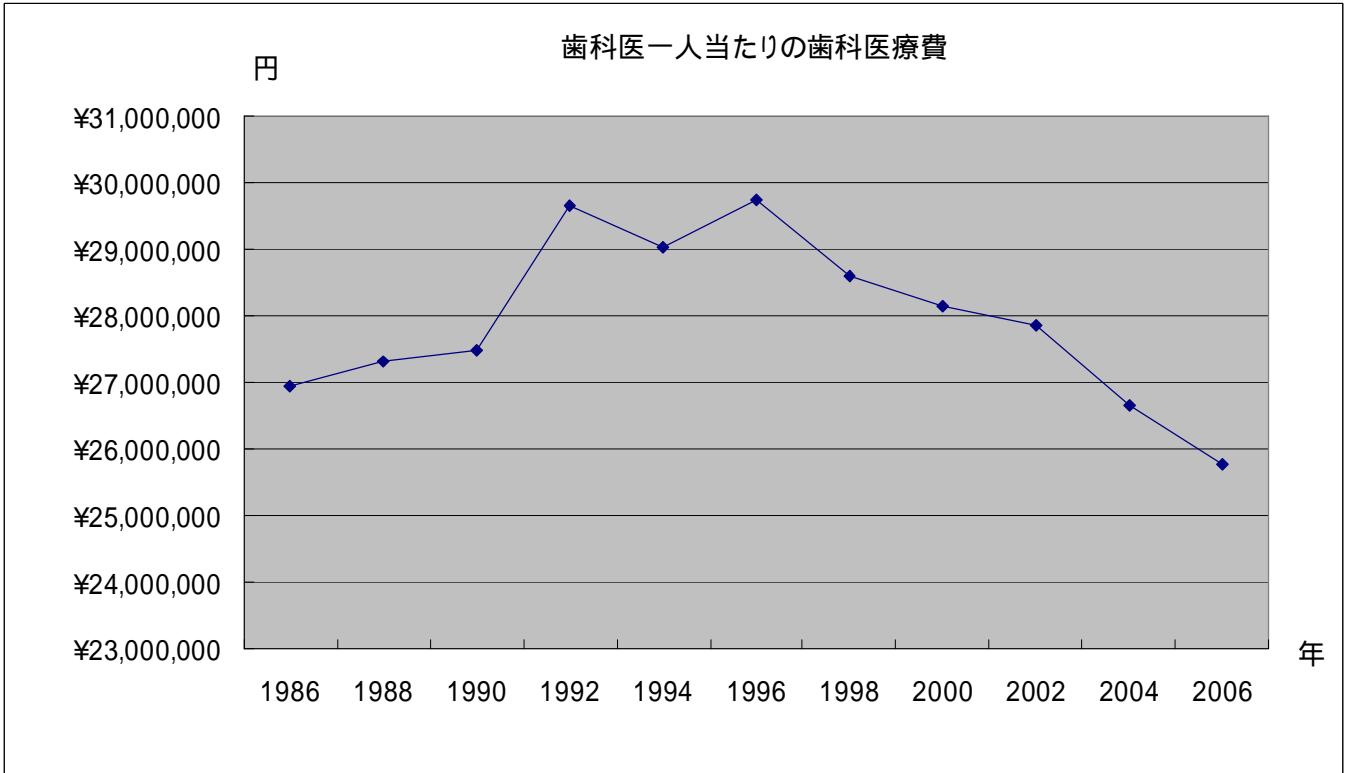
一方で歯科医師数は年々増加を続けている。

### 歯科医師数の推移(前回調査比)



毎年毎年、1000人以上歯科医師は増加している。

(統計は2年おき)



歯科医療費を、単純に歯科医師数で割った、歯科医師一人当たりの歯科医療費は、近年大きく減少傾向にある。

2009/09/04

みんなの歯科ネットワーク

チュー